

お知らせ

2022年7月6日
ジョルダン株式会社
JOR2240

ジョルダン株式会社

**7月6日より、白河市・コワーキングスペース「ラ・クリエーションプラス」で
予約管理、および顔認証技術を用いた入出管理の稼働開始
～予約から利用までDXの活用で運営コスト削減と利便性向上を実現～**

ジョルダン株式会社（本社：東京都新宿区、代表取締役社長：佐藤俊和、以下ジョルダン）は、白河市産業プラザ人材育成センター（福島県白河市中田140）内にあるコワーキングスペース「ラ・クリエーションプラス」（白河市、一般社団法人産業サポート白河運営）へ予約管理および顔認証技術を用いた入出管理システムを納入し、2022年7月6日（水）から白河市・一般社団法人白河市産業サポート白河にて運用を開始しました。顔認証技術を活用した公共施設の入出管理は、福島県内では初めての試みとなります。

新型コロナウイルスの影響により今後も非対面・非接触の来客対応が求められるとともに少子高齢化により人手不足となり、施設の管理が難しくなっている現状があり、施設の管理運営コスト、利便性の向上を目的とし導入されました。顔認証入退管理システムは、ジョルダンの提供するクラウドサービス「JorudanStyle3.1」の予約・決済サービスとパナソニック コネクト株式会社の顔認証技術を連携させ、瞬時に認証・予約確認を照合、入出管理を実現しました。

利用者は、スマートフォンやパソコンから予約サイトにアクセスし、利用日時を予約。予約当日、入出口に設置された顔認証機器により本人確認・予約確認を行い施設を利用します。精算は後日クレジットカード決済により実施します。予約から利用、精算までを人手を介すことなく実現でき、アフターコロナ時代に即した運営により人手不足対応、利用管理の効率化を目指します。

システムの概要は別紙の通りです。

(参考)

ジョルダンとは…

1979年12月に設立したジョルダンは、乗換案内を中心とするソフトウェア開発や携帯コンテンツ事業を軸に、旅行業などのビジネスを展開し組み合わせることで、「移動に関する No.1 ICT カンパニー」としての地位を確立することを経営戦略として掲げています。ジョルダンの主要サービスである「乗換案内」のスマートフォンアプリは累計4,000万ダウンロードを越え、多くのユーザーの「移動」をサポートしています。また、2018年7月、J MaaS 株式会社を設立し、交通サービスのプラットフォームへの参画企業を募るなど、MaaS ビジネスを積極的に展開しています。

<本件に関するお問合せ先>

一般の方からのお問合せ先

ジョルダン株式会社

販売推進部 井上・遠藤

TEL : 03-5369-4051

FAX : 03-5369-4057

E-mail : topologicaloffice@jorudan.co.jp

報道関係の方からのお問合せ先

ジョルダン 広報担当

(株)VAインターナショナル

田中／後藤／西岡

TEL : 03-3499-0016

FAX : 03-3499-0017

E-mail : vai@va-intl.co.jp

主な機能概要

◆予約登録機能

- ・スマートフォン、パソコンから、予約管理サイトへアクセスし、会員登録（氏名などの基本情報、認証用顔情報など）を行います。
- ・希望の利用日時の登録を行います。
- ・利用確認メールが送付されます。（QRコード付随）

◆入出管理機能

- ・予約当日、入出口に設置された顔認証機器により、顔を認証します。
予約システムと連動して予約情報を確認、顔認証による本人確認ののち、入室を承認します。
施設利用後、退室時に顔認証を行い利用終了処理を行います。

◆精算機能

- ・利用実績に応じた料金請求、月額定額料金の請求を行います。

◆マニュアル対応

- ・予約登録が出来ない利用者や一時的な利用者に対して、管理室に設置された端末から、予約登録、精算迄の処理が可能です。

利用イメージ



製品について

「JorudanStyle3.1」は、まちづくりクラウドサービスとして、地域の課題解決のための機能を組み合わせ様々なソリューションを提供しています。バスや鉄道等の公共交通への乗車といった交通系のサービスはもちろん、各種施設への入退出管理のほか、そこに至るまでの検索・予約・決済をワンストップで実現するサービスです。

顔認証においては、ジョルダンの自社開発によるエッジソリューションやクラウドサービスと顔認証サービスを連携させ、高速な認証を行います。これらのサービスは、「JorudanStyle3.1」を構成している「Jorudan Point：ポイント発行・運営する事業者向けプラットフォーム」や「Jorudan Pass：公共交通への乗車や各種施設への入場などのチケットを管理するシステム」を活用することで、ポイントをクレジットカードで購入し、チケット等を利用したり、他社ポイントサービスやキャッシュレスサービス等と交換することができます。そのほか、混雑情報やバスの接近情報、乗り換えの案内等をリアルタイムで提供することや、AI 解析によるダイナミックプライシングが実現可能です。